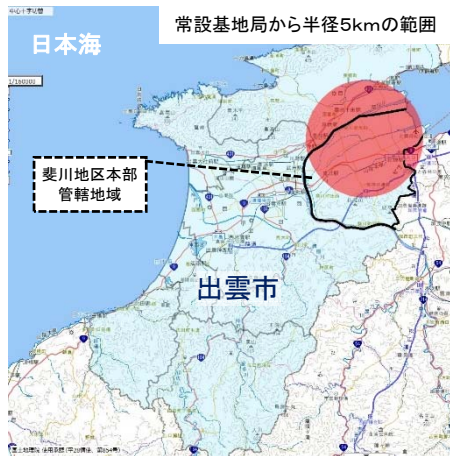


### 経営体の概要

- ・所在地：島根県出雲市斐川町
- ・取組主体：島根県農業協同組合（斐川地区本部）
- ・栽培作物・作付面積：水稲1,325ha、麦類91ha、豆類95ha等（斐川町内、2015年農林業センサス）

### 導入技術

- ・RTK-GNSS基地局（常設、（株）ニコンリンブル製）
- ・同（可搬型、同上）



↑自動操舵ユニット装着トラクターによる大豆の耕起播種・除草剤散布作業（1行程飛ばし）



←自動操舵＋ISOBUS対応プロトキャストの実演



←農業法人のGPSレベラー（レーザーレベラーの受光器を置換）

### 導入経緯

- 斐川地区本部管内では、土地利用型作物における経営の大規模化が著しく、省力化・高能率化が課題であった。
- H28年、自動運転機械等の導入基盤として、管内平坦部のほぼ中央にあるJAカントリーエレベーターの屋上にRTK-GNSS基地局を設置。
- 移動局との通信は無線リンクで行い、サービス半径は約5km。
- 地形等で死角になる地域向けに可搬型基地局も導入。

### 取組の特徴・効果

- 管内の個人・農業法人において、RTK-GNSS機器の導入が始まり、平成30年の春時点において、受信機（ガイダンス機器）8台、うち自動操舵3台が導入された。
- 利用者の評価
  - ・水稲の乾田直播栽培のための均平作業が、強風、レーザー光線の輻輳等の影響を受けずにできるようになった。（均平機、法人）
  - ・トラクター作業の軽労化。また代かき時に耕盤に残るトラクターの轍が正確な直線となり、田植機の走行が安定するようになった。（自動操舵トラクター、個人）